

2月7日は「ふるさとの日」

福井県は、明治14年2月7日、太政官布告により誕生し、昭和56年に置県百年を迎えました。

県では、これを機に、昭和57年に「ふるさとの日に関する条例」を定め、2月7日を「ふるさとの日」としました。

県民の皆さんは、郷土への理解と関心を深めて、明日のふるさと福井への思いを新たにしましょう。

「ふるさとの日」記念行事を本日開催

時間／13:00～15:20
場所／アオッサ8階・県民ホール(福井市手寄)

○ふるさと講演

「三つの多様性からの福井ふるさと百景」
講演者：進士五十八さん
(東京農業大学名誉教授、県里山里海湖研究所所長)

ふるさと福井は、豊かな自然、多様な人の生き方や暮らし方、それらを生き活きと写し出した風景にあふれています。

講演では、「生物」「生活」「景観」の3つの多様性について解説し、「福井ふるさと百景」という切り口から福井の素晴らしさを紹介します。

○ふるさと講談・落語

講談師の旭堂小二三さんが、幕末の福井藩士 橋本左内の一生についての講談を初公開。落語家の笑福亭鶴笑さんは、世界33カ国で人気の、人形を使ったパペット落語を披露します。

○「福井県科学学術大賞」表彰

○福井しあわせ元気国体関係表彰

※先着300名様に、越前和紙セットや上庄里いものころ煮など、県内市町の特産品をプレゼント

◇同時開催「福井ふるさとカフェ」

時間／10:00～15:30
場所／1階アトリウム

県内各地から、話題のご当地スイーツが1日限定でアオッサに集合。年縞スイーツやショコラdeようかんなど、普段は地元でしか買えない美味ばかりです。

ふるさとの日は入場無料

対象施設／恐竜博物館、一乗谷朝倉氏遺跡資料館、歴史博物館、陶芸館

ふるさと納税で福井を元気に

「ふるさと福井を応援したい」という気持ちを、寄付を通じて実現できる「ふるさと納税」。福井県が国へ提案し、平成20年から全国で始まりました。

全国から寄せられた大切な寄付金は、未来に希望のあふれるふるさと福井をつくるため、次のような活動に活かしています。

- ・景観や観光地の魅力アップ(まちなみ景観などの整備を支援)
- ・水月湖の年縞を国内外にアピール
- ・図書館の蔵書を充実

福井県や県内の市町に寄付をすると、お住いの都道府県・市区町村の住民税などが軽減されます。県外にお住いの家族、親戚、友人にぜひお知らせください。

ふるさと福井応援



問／県ふるさと営業課 0776(20)0286

平成26年 県政功労者 38人、1団体を表彰

県では、毎年「ふるさとの日」(2月7日)に、地方自治の振興および社会福祉、産業、教育、文化などの発展に貢献して、その功績が顕著な個人または団体の表彰を行っています。

今年は、個人38人と1団体の皆様が知事表彰を受けられます。



自治振興功労者
伊藤 藤夫 (68)
武生市議会議員、同副議長として二十二年間、議会の発展に尽力し、市民福祉の向上と市勢発展に寄与しました。元越前市議会議員。越前市。



自治振興功労者
田邊 義輝 (68)
福井市議会議員および同議長として二十四年間、経済対策など幅広い分野で尽力し、市民福祉の向上と市勢発展に寄与しました。元福井市議会議員。福井市。



自治振興功労者
道上前 利美 (69)
武生市議会議員として十六年間、環境整備、都市開発など幅広い分野で尽力し、市民福祉の向上と市勢発展に寄与しました。元武生市議会議員。越前市。



治安維持功労者
小柳 博俊 (62)
少年警察協助力として三十一年余にわたり、街頭指導や非行防止啓発活動に尽力し、少年の健全育成に寄与しました。現今立地区少年警察協助力会長。越前市。



治安維持功労者
宮本 健一 (76)
大野交通安全協会役員として三十五年余にわたり、交通安全活動に尽力するなど、地域住民の交通安全意識の高揚に寄与しました。現大野交通安全協会会長。大野市。



治安維持功労者
中村 健一 (65)
警察官として四十二年間、精励し、交通部門において交通事故事件の捜査や交通安全意識の啓発に尽力するなど、治安維持に寄与しました。元福井県警視。坂井市。



ボランティア活動功労者
石坂 禮子 (85)
長年、点訳ボランティアとして数多くの書籍、子ども向け絵本、科学教材などの点訳を行い、視覚障害者の福祉向上に寄与しました。現点訳ボランティア。越前市。



自治振興功労者
天谷 元信 (83)
永平寺町吏員等として三十一余年精励した後、同収入役を八年間務め、町行政運営に尽力し、町民福祉の向上と町勢発展に寄与しました。元永平寺町収入役。永平寺町。



自治振興功労者
木津 靖 (83)
今立町吏員等として四十一年間精励した後、同収入役を四年間、同助役を四年間務め、町民福祉の向上と町勢発展に寄与しました。元今立町助役。越前市。



自治振興功労者
井上 浩之 (74)
武生市吏員として三十九年余精励した後、同収入役を四年間務め、市行政の円滑な運営に尽力し、市民福祉の向上と市勢発展に寄与しました。元武生市収入役。越前市。



自治振興功労者
芝田 敏捷 (76)
小浜市吏員として三十九年余精励した後、同収入役を四年間務め、市行政の円滑な運営に尽力し、市民福祉の向上と市勢発展に寄与しました。元小浜市収入役。小浜市。



自治振興功労者
服部 博秋 (79)
福井市吏員として三十九年余精励した後、同収入役を四年間務め、市行政の円滑な運営に尽力し、市民福祉の向上と市勢発展に寄与しました。元福井市収入役。福井市。



社会福祉功労者
土肥 隆美 (63)
平成五年に希望園施設長に就任以来、障害のある施設利用者の就労支援に尽力するなど、障害者福祉の向上に寄与しました。現福井希望園施設長。大野市。



社会福祉功労者
小泉 文代 (64)
平成四年に国高保育園長に就任以来、地域交流の推進や保育の充実に尽力するなど、児童福祉の向上に寄与しました。元福井県国高保育園園長。越前市。



社会福祉功労者
竹内 麗子 (65)
昭和五十六年に清水台保育園長に就任以来、障害児と健常児の統合保育を実現するなど、児童福祉の向上に寄与しました。現福井竹伸会清水台保育園園長。福井市。



社会福祉功労者
松田 忠直 (77)
民生児童委員として三十九年余にわたり、地域住民の相談や要保護世帯の援助に尽力するなど、地域福祉の向上に寄与しました。元民生児童委員。大野市。



社会福祉功労者
安澤 重雄 (77)
民生児童委員として三十九年余にわたり、地域住民の相談や要保護世帯の援助に尽力するなど、地域福祉の向上に寄与しました。元民生児童委員。福井市。



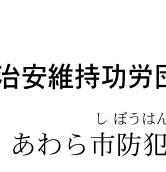
社会福祉功労者
久谷 清邦 (79)
二十七年余にわたり、英霊顕彰や遺族援護事業の指導実践に尽力するなど、遺族の福祉向上に寄与しました。現福井県遺族連合会副会長。坂井市。



消防功労者
安間 勝也 (70)
大野市消防団に入団以来、二十五年余にわたり、高い指導力で消防団の活性化と資質向上に尽力し、地域消防活動の発展に寄与しました。現大野市消防団団長。大野市。



消防功労者
寺谷 隆 (66)
敦賀美方消防組合消防吏員として四十二年間、幾多の火災や災害現場で尽力し、消防防災行政の進展に寄与しました。元敦賀美方消防組合消防本部消防長。敦賀市。



治安維持功労団体
あわらし防犯隊
昭和二十三年に結成以来、六十五年余にわたり、防犯パトロールの実施などの安全安心なまちづくり活動に尽力するなど、地域の治安維持に寄与しました。あわらし市。



学校教育功労者
稲山 幹夫 (63)
平成十七年に福井県教育委員会に就任以来、高教再編、学力向上、教育改革などに貢献し、教育行政の進展に寄与しました。元福井県教育委員会委員長。大野市。



学校教育功労者
津田 節江 (66)
長年、小中学校教育の充実・発展に努め、教育環境の整備や教育改革に尽力するなど、学校教育の発展に寄与しました。元福井県教育庁企画幹(学校教育)。福井市。



学校教育功労者
奥野 宏 (77)
平成十年に今庄町教育委員会教育長に就任以来、自然を活用した教育を推進するなど、教育行政の発展に寄与しました。元今庄町教育委員会教育長。南越前町。



産業振興功労者
福島 定己 (64)
平成四年に鯖江市農業協同組合理事に就任以来、営農指導や経営健全化に尽力するなど、農業の振興に寄与しました。現福井県漁業協同組合代表理事組合長。鯖江市。



産業振興功労者
山本 哲雄 (66)
昭和六十三年に福井県商協同組合理事に就任以来、漁業の普及に尽力するなど、水産物流通業の振興に寄与しました。元福井県漁業協同組合連合会代表理事。福井市。



産業振興功労者
増井 増一 (66)
平成二年に鳥浜漁業協同組合理事に就任以来、三方湖の漁場保全や資源回復に尽力し、地域漁業の振興に寄与しました。現鳥浜漁業協同組合代表理事組合長。若狭町。



産業振興功労者
坪田 正美 (66)
平成三年に坂井上兵庫土地改良区理事に就任以来、現場整備事業などの基盤整備事業を推進し、農業の振興に寄与しました。元坂井上兵庫土地改良区理事。坂井市。



産業振興功労者
栗原 信行 (73)
昭和五十八年に坂井西部土地改良区理事に就任以来、排水対策などの基盤整備事業を推進し、農業の振興に寄与しました。元坂井西部土地改良区理事。坂井市。



環境保全功労者
小島 峰雄 (70)
昭和五十二年に福井県公害審査委員会に就任以来、公害紛争の解決、公害の発生防止に尽力し、生活環境の保全に寄与しました。元福井県公害審査委員会。福井市。



保健衛生功労者
佐々木 紘昭 (70)
平成五年に福井県医師会理事に就任以来、組織の育成強化や地域住民の健康保持に貢献し、保健衛生の向上に寄与しました。元社福井県医師会副会長。勝山市。



保健衛生功労者
塩田 弦夫 (72)
平成二年に福井県麺類業環境衛生同業組合理事に就任以来、業界の発展と公衆衛生の向上に寄与しました。現福井県麺類業生活衛生同業組合理事。越前市。



保健衛生功労者
山野 修一 (76)
平成十年に坂井食品衛生協会理事に就任以来、組織強化と諸事業の円滑な推進に尽力するなど、食品衛生の向上に寄与しました。現坂井食品衛生協会会長。坂井市。



保健衛生功労者
木村 浩三 (77)
昭和五十五年小浜市医師会理事に就任以来、医療体制の整備や医学技術の研鑽に尽力するなど、保健衛生の向上に寄与しました。元社小浜医師会会長。小浜市。



保健体育功労者
八木 秀夫 (66)
昭和四十九年に福井県空手道連盟理事に就任以来、流派を超えた組織作りなどに尽力するなど、空手競技の振興に寄与しました。現福井県空手道連盟理事長。福井市。



保健体育功労者
牧野 昭夫 (67)
昭和四十四年に福井県自転車競技連盟理事に就任以来、選手の競技力向上に尽力するなど、自転車競技の振興に寄与しました。現福井県自転車競技連盟副会長。坂井市。



教育文化功労者
藤田 和美 (67)
平成十年に福井県子ども会育成連合会理事に就任以来、子ども会活動の推進に尽力し、社会教育の振興に寄与しました。元福井県子ども会育成連合会副会長。福井市。



教育文化功労者
大島 早泰子 (90)
長年、華道および茶道の指導・普及に尽力するとともに、各流派の連携を推進するなど、華道・茶道文化の発展に寄与しました。現福井県華道協会会長。大野市。